

伊良原ダムの7年間を見てきて
北九州市立松ヶ江南小学校 6年 北田真智
私は、保育園のころから毎年家族で祓川の
上流にあるじゃぶちキャンプ場に行っています。
キャンプ場に行く途中、祓川の横の道を
ずっと通っていきます。行橋の町を離れるに
つれて、川の水はどんどんすんできれいにな
っていきます。
その川の横に、川の水を利用したプールが
あり、はじめの頃はそこで遊んでからキャン
プ場に行っていました。しかし、ある年、夏
のはじめに大雨が降り、洪水でプールやその
あたりの村が被害にあったと新聞に書いてあ
るのを父が見つけて教えてくれました。
私は、何度も通ったことのある場所なので
心配になりました。その夏、キャンプ場へ行
く途中、洪水に押し流されてきた木がたくさ
んつみあげられて、集めてあるのを見て、洪
水って怖いんだなと思いました。
もちろん、プールは使えなくなっていまし

た。そして、父から**戒川**は急流だから昔から洪水が起こるためにその対策として伊良原ダムの工事が始まっていることを聞きました。

ダムの工事のために、長年住んだ家から引っこして違うところに住むことになる人いると聞き、少し悲しい気持ちになったのを覚えています。

それから、毎年夏のキャンプに行くたびに少しずつ中の道が**戒川**から離れた高い所の道になっていきました。工事が進むにつれてこれまで通っていた道はダムの底になっていくからだとお母さんが話してくれました。

昨年からは高台にある展望所からダムの工事の様子を見ることができるようになりました



た。ショベルカーやクレーン、ダムの上をわたしてあるロープで材料を運ぶ様子も見ることが出来ます。たくさん的人也働いています。

そして今年、ちゃんと看板を見ると、ダム
の説明がありました。

ダムには①洪水からふるさとを守る②いつ
でも安心して水を使えるようにふるさとの水
がめとなる。(ヤブオクドームも林分もためら
れます。)③日照りが続いても、田んぼや畑
で水が使える、水辺の生き物や植物を守る役割
があることが分かりました。

実はそれまで、ダムの工事のために変わっ
ていくことが悲しいとばかり思っていました。

しかし、もし、田んぼに水がこなかったら
お米を作っている熊本のおじいちゃんもきっ
と困るだろうなと思いました。

そして、住んでいた人や、田
川や京策の人が安全に便利になるように考え
られた伊良原ダムのことが少し好きになりま
した。

来年もキャンプに行くときに、ダムの工事
が進んでいる様子を見たいと思います。

